

News Release

2013年12月17日
マルホ株式会社

報道関係各位

患者さん向け Web サイト 「あなたにあったアトピー性皮膚炎治療を」 開設のお知らせ

治療薬への理解を深め、症状に合わせた治療選択を提案

マルホ株式会社(本社:大阪府大阪市北区、代表取締役社長:高木幸一、以下、マルホ)は、12月6日にアトピー性皮膚炎の患者さん向け Web サイト、「あなたにあったアトピー性皮膚炎治療を」を開設しましたので、お知らせいたします。

アトピー性皮膚炎の治療においては、抗炎症薬による炎症抑制と保湿剤によるスキンケアが中心となっています。しかしながら、治療期間が長期にわたることに加え、抗炎症治療として使われるステロイド外用薬やタクロリムス軟膏に対する誤解から、服薬のアドヒアランスが低下して期待する結果が得られず、治療を断念してしまうケースが少なくありません。

患者調査データベース、PatientsMap(2013年版)によると、アトピー性皮膚炎の診療患者数は、172万人¹と発表されています。特に0歳から5歳、21歳から25歳²に患者さんが多く、最近では、進学・就職などで生活環境が大きく変わる20~30代に重症例の増加傾向³がみられます。

マルホは、皮膚科領域のリーディングカンパニーとして、この領域におけるより広い貢献を目指しています。より適切な治療に関する情報提供を行うことが患者さんの治療満足度の向上に繋がると考え、「あなたにあったアトピー性皮膚炎治療を」を開設いたしました。

本サイトは、特に治療の主軸となる外用薬に対する理解を深めることを目的としています。また、医師への相談を促進するために、症状や治療の悩みがよりの確に伝わるよう、診察前のチェックシートを提供しています。

今日では、さまざまな情報がインターネットなどによって入手できます。しかし、その一部によって、治療薬の拒絶や医師への不信感などが生じ、治療効果の最大化に医療関係者も苦慮している現状があります。

サイトの監修医師である、自治医科大学・皮膚科学教室の大槻マミ太郎教授は、「患者さんも疾患や治療について熱心に情報収集をしています。そのため、時に治療や薬に対して疑問や不安を感じ、自己判断で薬の量を減らしたり、治療をやめたりしてしまうことがあります。『あなたにあったアトピー性皮膚炎治療を』での情報提供が患者さんの意識を変え、医師と二人三脚で治療を続けていける環境作りの一助となることを期待しています。」と、述べています。

年齢、症状、発症部位に応じた治療・治療薬があることを正しく知っていただき、患者さん自身にあった治療法を安心して選択いただけるよう、本サイトを通じて治療効果の向上をサポートしてまいります。

「あなたにあったアトピー性皮膚炎治療を」の概要

- ・URL:<http://www.maruho.co.jp/kanja/atopic/>
- ・コンテンツ
 - 治療薬にも種類があるってご存知ですか？
 - あなたにあった症状別対処法
 - 外用薬の上手な使い方
 - あなたの悩みを医師に伝えてください(医師相談用チェックシート)
 - 医療機関の検索
 - 免疫抑制外用薬を使用されている患者さんへ(タクロリムス軟膏について)



もっとあなたらしい毎日へ
あなたにあったアトピー性皮膚炎治療を。

監修：自治医科大学 皮膚科学教室 教授 大槻 マミ太郎 先生 文字サイズ 小 **中** 大

 治療薬にも種類があるってご存知ですか？ ▶ アトピー性皮膚炎の原因とともに、どの治療薬がどのように働いているのかを解説します。	 あなたにあった症状別対処法 ▶ 皮膚炎の重症度を知って、あなたに合った対処法を見つけてください。	 外用薬の上手な使い方 ▶ 上手な塗り薬の使い方を説明します。
 あなたの悩みを医師に伝えてください ▶ 上手にお医者さんに伝えるためのチェックシートです。	 お近くの医療機関を探す ▶ 通いやすい病院を探そう。	 免疫抑制外用薬を使用されている患者さんへ ▶ 免疫抑制外用薬は、ステロイド外用薬とは異なるタイプのアトピー性皮膚炎治療薬です。

以上

出典

- ¹ PatientsMap; 2万人以上の医師から、希少疾患を含む422疾患(2013年度版)について診療患者数を調査したデータベース (㈱社会情報サービス, エムスリー㈱)
- ² 皮膚科受診患者の多施設横断全国調査(2007)日本皮膚科学会ガイドライン「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2009」より
- ³ 一般社団法人日本アレルギー学会「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2012」

アトピー性皮膚炎について

アトピー性皮膚炎は、生後2~3か月頃から顔に皮疹ができ、それが徐々にからだ、手足に広がって肘や膝の内側などに治りにくい湿疹が慢性的に続きます。成人になるにつれて自然寛解する場合がありますが、最近では成人になっても軽快しない、もしくは成人になってから発症する例が増加しています。治療はステロイド外用薬や免疫抑制外用薬による炎症抑制と保湿剤による皮膚のバリア機能の改善が中心となります。

タクロリムス軟膏について

タクロリムス軟膏(製品名:プロトピック[®]軟膏)はステロイド外用薬とは異なる作用機序を有するアトピー性皮膚炎治療薬です。1999年に「プロトピック[®]軟膏0.1%」、2003年に「プロトピック[®]軟膏0.03%小児用」が承認され、世界60カ国以上で使用されています。マルホは、2011年4月にアステラス製薬よりプロトピック[®]軟膏のプロモーション委託を受けています。

マルホ株式会社について

マルホ株式会社は大阪市北区に本社を置く、医療用医薬品の研究・開発・製造・販売を行う製薬企業です。創業は1915年、従業員数は1,169人(2012年9月末)です。2012年9月期の総売上高は607億8千万円でした。“Excellence in Dermatology”を長期ビジョンとして掲げ、皮膚科学領域での卓越した貢献を目指しています。国内の研究開発拠点を京都市、生産拠点を彦根市に配し、また、欧米に現地法人を設立してグローバルの開発体制を整えています。マルホ株式会社についての詳細はwww.maruho.co.jpをご覧ください。

本件に関する問い合わせ先

マルホ株式会社 広報部

杉本美麗

Tel: 06-6371-8831 Fax: 06-6371-8679

Email: kouhou@mii.maruho.co.jp